



炭竈ふく代 議員
公明党

問 あいサポート運動の推進を

答 研究し暮らしやすい社会を実現



▲障がいのある方を支える「心」を2つのハートで表現した「あいサポート運動」のシンボルマーク

- 問** 障がい者への気配り、配慮などを行う「あいサポート運動」への認識は。
- 答** 〔福祉課長〕 障がいのある方と地域が相互に理解し合い、暮らしやすい社会の実現を目指す運動と理解。
- 問** 「あいサポーター養成研修」の取り組みは。
- 答** 先進市を研究していく。
- 問** 平成28年施行の障害者差別解消法に伴い、市が策定した「職員対応要領」について以下を問う。
- 答** 職員への研修、啓発内容は。障がいを理由に差別的な対応にならないよう周知啓発を行っている。
- 問** 教育委員会の取り組みは。
- 答** 〔教育部長〕 専門相談員を配置し、関係諸機関とも連携し適切に行っている。
- 問** 周囲に配慮を知らせる障がい者のための「ヘルプマーク」、「ヘルプカード」の導入は。
- 答** 〔福祉課長〕 ヘルプマークは希望者に配布し、ヘルプカードも名称は違うが配布している。
- 問** 窓口サービスの体制など市の方針は。
- 答** 〔民生部長〕 市民に負担をかけないように今後も研究していく。

| | |
|----------|---------------|
| 問 | 災害時の乳幼児対策の充実を |
| 答 | 各家庭に備蓄を周知 |

- 問** 避難所のミルクと哺乳瓶の現在の備蓄状況は。
- 答** 〔危機管理課長〕 備蓄していないが、非常時の持出品として各家庭に啓発を行っている。
- 問** 断水時に必要とされる使い捨て哺乳瓶を備蓄する考えは。
- 答** 来年度、予算化に向けて進めていく。
- 問** 昨年8月からの乳児用液体ミルクの国内製造・販売開始を受け、災害時の備えに国産液体ミルクの備蓄を早期導入すべきでは。
- 答** 液体ミルクは賞味期限が6カ月と短いため、製造会社には改良を期待している。導入に関しては、備蓄品の更新時期に考えたい。

